

櫟

けやき

小牧幼稚園 園だより第352号 2019年12月 クリスマス号
教育目標「神を敬い 人を愛し 平和を作り出す子どもを」
年主題「ことばに満たされて～ひびきあう～」
年聖句「その人は流れのほとりに植えられた木。」
詩編1篇3節

現代日本のキリスト教絵画を代表する画家の一人に渡辺総一さんがおられます。2004年に『共に歩むキリスト』と題された画集が出ています。見ておきますと渡辺さんの絵に共通する特徴として人物の表情を描かないことに気付かされます。これはおそらく絵を見る人が自分の心の中で登場人物の表情をイメージするように促されているのでありましょう。今年もあお組さんとみどり組さんには何枚かの絵を見てもらいました。

聖書の物語に限らず民話でも推理小説でも同じだと思いますが、読者は登場人物の動きや声や表情を物語の前後関係や行間から深く読み込んでいきます。聖書の物語を題材にした絵画は、そうやって画家が読み込んだものが絵になって表現されます。渡辺さんの絵の面白いところは、その絵からさらに私たちが読み込める、いわば鑑賞者による解釈の余地があるところです。

受胎告知の絵では、一世一代の知らせを届けに来た天使と両手を組んで敬虔を表しているマリアが描かれ、2人の表情を私たちは思い浮かべます。そのためには私たちは天使とマリアの心に思いを馳せなければなりません。羊飼いへのお告げの場面は、天使の登場が闇を照らす光となりました。そこには焚き火を囲む羊飼いと共に羊たちも描かれます。羊飼いたちが突然の光に驚く様子だけではなく、眠りから起こされた羊の気持ちにも思いを寄せることとなります。

イエスの生まれた馬小屋の場面では、マリアと共に羊と牛と羊飼いが飼料を覗き込んでいます。6人の羊飼いにどんな表情を描きましょうか。救い主に会えた喜び。無事に育つかという心配。マリアへのいたわり。その表情の奥には、探し回った疲れやら野原に残してきた仲間や羊を思う気持ちやらがあつたことでしょうか。2匹の羊や牛にはどんな顔をしてもらいましょうか。彼らを幼子イエスがキリストの光で照らします。3人の博士にはどんな表情を描きましょうか。そしてヨセフには、その表情はいずれも私たちの心の中にあるキリストへの思いを映し出します。

クリスマス会の聖劇の登場人物(動物)ひとりひとりに思いを寄せていきたいものです。その時、キリストは私たちと共に歩んでくださることでありましょう。

クリスマスの朝、みなさまにキリストの光が届きますように。

小牧キリスト教会牧師 橋口 望



☆小牧キリスト教会 クリスマス礼拝 12月22日 午前10時30分より
イブ礼拝 12月24日 午後 7時より
礼拝出席は、どなたでも歓迎します。

1月給食メニュー

1月	9日(木)	お雑煮風けんちん汁	ゆかりごはん	果物
	10日(金)	五目焼きそば		果物
	14日(火)	デニシュパン	ソーセージ	果物
	16日(木)	ハヤシライス		果物
	17日(金)	すきやきご飯		果物
	21日(火)	クロワッサン	鶏のから揚げ	果物
	23日(木)	五目ご飯		果物
	24日(金)	ミートソーススパゲッティ		果物
	28日(火)	デニシュパン	ソーセージ	果物
	30日(木)	味噌煮込みうどん		果物
	31日(金)	カレーライス		果物

*食材の都合により変更もあります。

☆毎年、バザー会計より献金させていただいています、「ミンダナオ子ども図書館」の広報誌の「ミンダナオの風」2019年12月クリスマス号より。

「ミンダナオ子ども図書館の敷地内には、300人ほどの極貧家庭の先住民、イスラム、クリスチアンの奨学生たちの中から、孤児や崩壊家庭や虐待と言った理由で保護を必要とする子どもたちが、80人ほど一緒に暮らしています。山と海の下宿小屋で暮らし、通学している極貧の子たちを含めると、200人ほどの衣食住や教材費や学費を保証！毎日のようにスタッフが、広大な地域を巡り、皆様からの寄附で、養っています！日本ではちょっと想像できない 心理的肉体的なダメージを受けてきた子たちだけでなく、日本から訪れる、若者たちや中高年の方々が、驚かれるのは、その明るさと生きる力！

『わたしたち、宗教や民族が違っていても、みな兄弟姉妹で一つの家庭！

ここにいと幸せ！ここは、我が家なの！

大切なのは、友情と愛』

朝4時半に起きてのご飯づくりから掃除洗濯、そして花壇や畑作りまで、子どもたちが楽しそうにやってくれる。時には木に登って果実をとって、みんなで分けて、食べさせてくれたり！読み語りや避難民救済も、積極的にやる子たち。

そうした子どもに出会って過ごして、日本から来た若者たちが、必ず言う言葉、「ここは、僕の我が家だよ。もう日本に帰ってもだいじょうぶ。辛いときでも、ここにすれば夢がもてるし、気持ちが癒され、元気になれる！」

(「ミンダナオ子ども図書館」には日本から多くの悩む人たちがお手伝いに行かれています。お手伝いに行かれるのですが、逆に元気を貰って帰ってくる人が、多く見えるそうです。)

☆バザーの会計報告は、1月号で報告します。

☆1月の予定

- 1月 4日(土) 親子餅つき大会
- 9日(木) 3学期始まり この日から給食あります
- 14日(火) 牛乳始まります
- 15日(水) 誕生会 午後
- 24・25日 来年度入園予定児の、準備会

その他、1月には、小牧中学・味岡中学のお兄さんお姉さんたちが、職場体験に来ます。